

畜産ネットワーク ちば

2024年10月18日

第61号

発行所 公益社団法人千葉県畜産協会

〒260-0021

千葉市中央区新宿1-2-3

K&T千葉ビル3階

発行人 森 英介

11月16日(土) 船橋競馬場へ!!

千葉県畜産フェア

千葉の畜産を『食べよう』『話そう』『知ろう』!



入場無料 11:00~16:00



会場：船橋競馬場

京成線 船橋競馬場駅から徒歩5分

JR京葉線 南船橋駅から徒歩10分

☆農畜産物の販売

卵・卵加工品、豚焼肉・加工品、牛乳・乳製品、牛精肉、はちみつなど千葉県産品を販売いたします。

☆大抽選会

畜産フェア内のお店でのお買い上げ、またはアンケートの回答などでもらえる抽選券で豪華畜産品等が当たる抽選会を行います。

その他、展示・体験コーナーなどを設置、皆様のご来場をお待ちしております。

※販売や抽選など時間内に終了・売切れの際はご容赦ください。

【主催】

千葉県畜産物消費拡大推進協議会

公益社団法人千葉県畜産協会

【お問合せ先】

公益社団法人千葉県畜産協会

TEL.043-242-5417



令和6年度定時総会開催

令和6年6月26日、プラザ菜の花（千葉市）において、森会長出席のもと令和6年度定時総会を開催し、報告事項（令和5年度事業報告、令和6年度事業計画並びに収支予算）及び上程した全4議案について原案どおり承認されました。（同日臨時理事会を開催、役員改選の結果は別表のとおり。）

昨年度は、新型コロナウイルス感染症の感染法上の位置付けが5類に移行し、生活が通常に戻ってきました。一方で、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化により食料やエネルギーの供給は依然不安定で、加えて円安の継続によって、輸入飼料がかつてないほどに高騰し、前年度に引き続き畜産業界が大きく影響を受けた年となりました。

こうした状況の中、当協会では国・県の実施する緊急対策に機動的に対応しながら、法に基づく経営安定対策や伝染病に備える家畜衛生対策などの経営を守る事業、経営診断を基本とした個別指導や生産基盤を強化する補助事業などの経営を支援する事業、更にはこのような状況下でも前進したい経営に対してもICT等のデジタル技術導入や高い衛生レベルを掲げた農場HACCPの認証支援などの事業、また、消費者との交流による畜産物のPR活動などの事業を幅広く展開しました。

加えて、公益社団法人中央畜産会等が実施する事業に積極的に取り組み、財政基盤の安定に努めるほか、県等への政策要請活動や豚の登録事業、畜産関連10団体の事務局として事務を適切に執行しました。

特に、船橋市で酪農を営む佐久間清・順子さん夫妻が都市近郊の立地で工夫を凝らした特徴的な経営から全国優良畜産経営管理技術発表会で公益社団法人中央畜産会長賞を、また、旭市で養豚を営んできた柴しづいさんが長年の業界への功労で畜産生産者等功績者表彰をそれぞれ受賞し、明るい話題を提供してもらいました。（総務課 榎屋）

【公益社団法人千葉県畜産協会 役員名簿】

役職名	氏 名	所 属 団 体	
		団 体 名	職 名
会 長	森 英介	学識経験者	
副 会 長	高橋 秀行	千葉県酪農農業協同組合連合会	代表理事会長
	荒井 隆	全国農業協同組合連合会千葉県本部	県本部長
	米本 弥一郎	旭市	市長
	上田 千世	千葉県農業共済組合	家畜部部長
	岩岡 喜久男	旭市養豚推進協議会	
専務理事	富田 耕太郎	学識経験者	
理 事	大澤 浩司	千葉県農林水産部	畜産課長
	石井 裕	南房総市	市長
	鈴木 正行	ちばみどり農業協同組合	常務理事
	菅谷 実	かとり農業協同組合	指導経済担当常務
	市川 陽一郎	公益社団法人 千葉県獣医師会	会長
	菅谷 敏勝	千葉県肉牛生産農業協同組合	代表理事組合長
	麻生 義一	千葉県家畜商協同組合	理事長
	青柳 耕一	ナイスポークチバ推進協議会	会長
	尾形 玲子	千葉県養蜂協会	会長
代表監事	鳶津 昌明	千葉県農業協同組合中央会	専務理事
監 事	加瀬 一四郎	一般社団法人千葉県配合飼料価格安定基金協会	理事長
	秋庭 清一	山武市養豚組合	
	金子 洋樹	金子公認会計士税理士事務所	公認会計士・税理士

PRRS地域防疫セミナー及び事業推進会議開催

旭市では、昨年に引き続き地域養豚生産衛生向上対策支援事業を活用しPRRSに加えPCV2対策に取り組んでいます。（生産課 金杉）

◎事業推進会議（2024.7.16：旭市役所）

旭市養豚推進協議会三役及び関係獣医師による推進会議を開催いたしました。

会議開催にあたり千葉県の実情を説明、千葉県養豚算出額は令和3年から令和4年にかけて増加、しかしながら令和5年にかけて出荷頭数が減少。

補助事業による事業達成目標（一腹当たりの出荷頭数）とは別に、各県の実態や課題を踏まえた目標を設定することとなったことから地域目標を設定。



○協議会が目指す方向や方針

防疫体制の強化を図るため、生産者の意識向上を目指す
⇒事業に対する満足度（アンケート調査による）
⇒勉強会の出席生産者の増加

○定量的に判断するための指標

PCR野外陽性期間の短縮達成農場の割合増加
⇒検査結果のデータ活用

また、旭市内のPRRSワクチン接種状況について、68%が使用、22%が不使用、接種方法もワクチンについて、どう思っているか1人5枚の付箋に思っていることを書き出すブレインストーミングを行いました。

◎第2回PRRS地域防疫セミナー（2024.9.20：旭市千潟公民館）

早川先生を座長に第2回のセミナーを開催いたしました。

チョコマロンライブストックパートナーの矢光先生から「豚サーコウィルス2型感染症の過去と今後の課題」と題し講演いただきました。

- ・豚サーコウィルスはPRRSとは違った呼吸状態
- ・2008年、要請により早期にワクチンが認可され、旭市は全国でも優先的にワクチン入手、優れた効果で、次の日には改善が見られた
しかしながらサーコは過去の疾病ではない
- ・遺伝子の変異能力が高く、ワクチンの免疫が効きにくい株に変化する可能性がある
- ・今までのワクチンは、優勢であったPCV2aを用いていたが、PCV2b、PCV2d対応が重要



続いて、(有)ブライトピック北條先生より、「PRRS発生事例と経緯」と題し、自農場での事例を報告いただきました。



- ・クラスターⅣが全ての農場に入ってしまう、今回の事例報告は比較的被害の少ない第一農場について
- ・事故率は年平均で5～7%、安定しているためワクチンは使用していない
- ・繁殖農場から第一農場へ全量受け入れを行っているが、第一農場の株が東庄農場へ入ってしまった
- ・感染理由としては、運搬トラックなどが原因と考えられる
- ・今後の対策として、トラックの移動回数を減らすか、従業員の扱いを検討

令和6年度畜産講習会開催

例年、養豚生産者にとってその時々のもっとも関心の高いテーマにより「千葉県養豚大会」として開催してまいりましたが、本年度は旭市との共催により『畜産環境対策』をテーマに講習会を実施、9月26日（木）、千葉県東総文化会館において開催いたしました。会場には、県下畜産農家、県及び関係団体、畜産関連企業など132名が参加。開会に際し、（公社）千葉県畜産協会副会長であり地元旭市の米本弥一郎市長から主催者挨拶の後、下記テーマで講演いただきました。

①『法改正に見る我が国畜産の進むべき道』

農林水産省関東農政局生産部畜産課

課長 川本 博康 先生

②『畜舎排水における硝酸性窒素等の管理手法について』

千葉県畜産総合研究センター企画環境研究室

上席研究員 長谷川 輝明 先生

③『畜産経営における悪臭対策と苦情対応』

畜産環境アドバイザー 本多 勝男 先生

四半世紀ぶりに改正された「食料・農業・農村基本法」の改正点の解説、厳しくなる畜産排水基準の問題に加え、環境対策の中でも対策が難しい臭気問題と中身の濃い講演会となりました。（生産課 加藤）



令和6年度 千葉県肉豚共進会 旭市の株式会社渡辺畜産が農林水産大臣賞を受賞！

令和6年度千葉県肉豚共進会を10月1日（火）～3日（木）、旭市の千葉県食肉公社を会場として開催いたしました。

全体の成績としては、63組126頭の出品数で、上物頭数104頭、上物率82.5%、平均枝肉重量77.5kgという結果で、その中から比較審査を行い、旭市の株式会社渡辺畜産様が名誉賞を受賞いたしました。

名誉賞に輝いた株式会社渡辺畜産様の出品豚は、去勢は極上で枝肉重量79.5kg、雌も極上で77.5kgとほぼ揃っており、厚さ、幅があり、ももや中駆の張りに優れるなど、外観のまとまりが良く、肉質の点でも脂肪や肉の色沢、締め・きめの点で素晴らしく欠点のない枝肉でした。（生産課 金杉）



賞	出品 No.	市町村	氏名
名誉賞	46	旭市	株式会社渡辺畜産
優等賞1席	28	香取市	成毛 崇
優等賞2席	41	旭市	株式会社エフファーム
優等賞3席	17	東庄町	愛東ファーム(株)
優等賞4席	34	香取市	木村 勝幸
優等賞5席	8	富里市	佐々木 浩

上位入賞豚の買い増し	
名誉賞	1000 円/kg
優等賞1席	500 円/kg
優等賞2席	300 円/kg
優等賞3席～5席	50 円/kg
優等賞6席～10席	30 円/kg



畜産に学びの場を。

FARMinar

ファーマナー

お客さま専用オンライン情報配信サービス

POINT1

どこからでも参加できる
オンラインセミナー

POINT2

専門家による飼養管理や
農場運営に役立つコラム




肉用子牛生産者補給金制度

本制度は肉用子牛の価格が低落した場合に、生産者補給金を交付し、肉用子牛生産の安定等を図ることを目的としております。加入を希望する方は事務局までお問い合わせください。

また、契約者死亡、経営中止、経営移譲、個人から法人への移行等、現在の契約に変更が生じた場合は、速やかに事務委託先を通じて報告をお願いいたします。（経営・環境課 小倉）

◆肉用子牛の保証基準価格・合理化目標価格及び発動状況

（単位：円／頭）

区分		黒毛和種	褐毛和種	その他の肉専用種	乳用種	交雑種
保証基準価格		564,000	514,000	328,000	164,000	274,000
合理化目標価格		444,000	404,000	258,000	110,000	216,000
6年度 第1四半期※	平均売買価格※※	541,400	606,100	－	177,500	318,500
	補給金単価	22,600	－	－	－	－

※ 「その他の肉専用種」については、令和2年度から算定期間を1年（4月～3月）としている。

※※ 「平均売買価格」については、指定家畜市場における指定肉用子牛の取引価格から算出している。

肉用牛肥育経営安定交付金制度（牛マルキン）

本制度は、肥育牛1頭当たりの標準的販売価格が標準的生産費を下回った場合に、肉用牛の生産者に対し、その差額の9割を交付金として交付することにより、肉用牛の生産者の経営に及ぼす影響を緩和することを目的としています。肉用牛肥育経営安定交付金制度（牛マルキン）に加入して経営の安定を図りましょう。（企画課 飯沼）

◆交付金の交付状況

（単位：円／頭）

区分		標準の販売価格 (A)	標準の生産費 (B)	差額 (C) = (A) - (B)	交付金単価 (D) = (C) × 0.9
令和 6 年 4 月	肉専用種	1, 167, 549	1, 231, 203	△74, 645	57, 288. 6
	交雑種	779, 983	743, 435	36, 548	-
	乳用種	457, 067	478, 202	△21, 135	19, 021. 5
令和 6 年 5 月	肉専用種	1, 128, 033	1, 233, 781	△105, 748	95, 173. 2
	交雑種	764, 503	754, 459	10, 044	-
	乳用種	461, 771	500, 490	△38, 719	34, 847. 1
令和 6 年 6 月	肉専用種	1, 095, 761	1, 236, 072	△140, 311	126, 279. 9
	交雑種	737, 291	763, 142	△25, 851	23, 265. 9
	乳用種	465, 312	510, 908	△45, 596	41, 036. 4

注：肉専用種は千葉県単価となります。また、交付金は1円単位で交付されます。

酪農家・肉用牛農家の皆様へ！牛トレーサビリティ制度 あなたの牛は大丈夫？

☆牛の出生や異動の届出は、速やか、かつ正確に行いましょう！

- ①牛の管理者には、牛トレサ法に基づく耳標の装着及び各種届出が義務づけられています。
- ②届出をせず、又は虚偽の届出をした場合には、牛トレサ法に基づく罰則の対象となります。
- ③さらに、各種補助金の対象から除外されたり、返還を求められる場合もあります。

☆牛トレーサビリティ制度に関するお問い合わせは…

- ・関東農政局 消費・安全部 畜水産安全管理課 TEL:048-740-5066
- ・関東農政局 千葉県拠点 TEL:043-380-0778



第62回畜産関係試験研究成果発表会のお知らせ

千葉県農林水産技術会議畜産部会主催の試験研究成果発表会が開催されます。

開催日時、場所、課題名等は下記のとおりです。参加は無料で、事前の申し込みも必要ありません。皆様のご来場をお待ちしております。

また、令和7年2月中旬から年末まで、「千葉県公式セミナーチャンネル」にて動画配信も行います。どなたでも視聴が可能ですのでぜひご覧ください。（千葉県畜産総合研究センター）

日時：令和6年11月5日（火） 午前10時～午後3時

場所：東金文化会館小ホール〔東金市八坂台1-2107-3 / TEL：0475-55-6211〕

<養鶏部門>

[10:10～11:20]

◆ 採卵鶏におけるアニマルウェルフェアに配慮したケージシステム利用の検証

（畜産総合研究センター 養豚養鶏研究室 小形 次人）

アニマルウェルフェアに配慮した造作ケージにおける採卵鶏の生産性を調査したところ、バタリーケージに比べて活動量の増加等により、生産性の低下が見られたが、行動の自由は確保できた。

（ケージ内で止まり木の上で休息する鶏）



◆ 採卵鶏主要銘柄長期飼育比較調査

（畜産総合研究センター 養豚養鶏研究室 能瀬 祥吾）

採卵鶏8銘柄を700日齢まで長期飼育したところ、多くの銘柄で高い産卵持続性と良好な卵質成績を示した。更に、過去3回の調査結果に基づく各銘柄の特徴を紹介する。

（鶏卵（白・赤・ピンク））



◆ 採卵鶏における長期飼育に伴う産卵後期の生産性向上に関する研究

（畜産総合研究センター 養豚養鶏研究室 藤平 涼央）

長期飼育における産卵機能の老化抑制の効果が期待されるリゾープス菌麹エキスを、産卵後期の白玉卵産出鶏に給与したところ肝機能の改善の可能性が示唆された。

（給与試験の様子）



<養豚部門>

[11:20～12:00]

◆ 旭市内の豚繁殖・呼吸障害症候群の動態と豚熱ワクチンの抗体保有状況

（東部家畜保健衛生所 防疫課 醍醐 由香里）

豚繁殖・呼吸障害症候群（PRRS）の浸潤状況と豚熱ワクチンの抗体保有率を調査したところ、市内の各農場にPRRSが広く存在していた。また、豚熱ワクチン抗体の保有率は概ね良好だった。

◆ 【試験の紹介】

日本版アニマルウェルフェアに配慮した豚のストレス緩和法の検討

（畜産総合研究センター 養豚養鶏研究室 井出 深）

母豚および子豚のアニマルウェルフェアに配慮した飼養管理方法を検討するために、現在実施しているストレス緩和法の調査について紹介する。

（授乳中の子豚）



～ 昼食時間 ～

[12:10～13:10]

◆ 気候変動に対応した安定的な飼料作物栽培技術の確立（トウモロコシ単播）



（畜産総合研究センター 企画環境研究室 岡庭 就祐）

本県の飼料用トウモロコシ（単播）の播種時期について、これまで4月中旬以降が推奨されてきたが、3月下旬以降に早期化が可能である。

（トウモロコシの生育調査）

◆ 気候変動に対応した安定的な飼料作物栽培技術の確立（トウモロコシ・ソルガム混播）



（畜産総合研究センター 嶺岡乳牛研究所 齋藤 孝太郎）

トウモロコシ・ソルガム混播栽培における栽培技術を検討した。播種時期は4月上旬まで早めることができ、1番刈時期は8月下旬まで遅らせることが可能である。

（トウモロコシ・ソルガム混播栽培）

◆ 牛群検定成績から見た県内酪農家における技術的課題の解明



（畜産総合研究センター 乳牛肉牛研究室 行川 貴浩）

本県の2016～2018年頃の乳量低下について、牛群検定成績を用いて分析したところ、乳量形質の改良の遅れ、乳牛更新の停滞、気象の影響等の複数の要因が考えられた。

（乳量の低下）

◆ 大家畜経営でのICTを活用した繁殖管理システム導入の実態

（畜産総合研究センター 企画環境研究室 齊藤 健一）

発情検知機器は繁殖成績改善のため、分娩監視・通報機器は省力化のための機器であり、導入により心理的負担の軽減が得られる。他の情報も含め、調査農家の実態を紹介する。

－お問い合わせ先－

●千葉県畜産総合研究センター [TEL : 043-445-4511 FAX : 043-445-5447]

●千葉県農林水産部畜産課 [TEL : 043-223-2939 FAX : 043-222-3098]

※発表予定時刻等は畜産総合研究センターホームページ(<http://www.pref.chiba.lg.jp/lab-chikusan/>)をご覧ください。

（公社）中央畜産会からのお知らせ

畜産映像情報

がんばる! 畜産! 7

畜産現場の“今”を30分の番組にしました!
映像を各種研修会、セミナーにご活用ください!

配信中の内容: 総集編 若き情熱! 全国和牛能力共進会 特別区/畜産DX特集 総集編 養鶏・養豚の今に迫る/コントラクターと連携 大分県高田牧場/他



◀スマートフォンからはこちら
▼パソコンからはこちらで検索

がんばる畜産



（公社）中央畜産会 経営支援部（情報） TEL03-6206-0846



NPO法人いきいき畜産ちばサポートセンター通信

1. 令和6年度通常総会及び第1回畜産研修会の開催

令和6年度通常総会は6月28日（金）千葉市民会館第3・4会議室に於いて、会員総数77名のうち、67名出席（内、委任状32名）及び来賓13名のもと開催されました。

宮島副理事長の進行により、新城恒二理事長の挨拶のあと、来賓の公益社団法人千葉県畜産協会 専務理事 富田耕太郎 様、公益社団法人中央畜産会 鈴木邦夫 様からご祝辞をいただきました。

議長は慣例により新城理事長が選出され、3議案が審議、全て原案どおり可決されました。

総会終了後の畜産研修会では、千葉県農林水産部畜産課 企画経営室 主幹 丸山武則 様による「令和6年度主要施策について」現在の畜産経営の問題点とその振興施策について解説して頂きました。



次に農林水産省 消費・安全局 動物衛生課 家畜防疫対策室 室長 大倉達洋 様からは「家畜衛生をめぐる情勢について」特に、豚熱の状況および対策については野生いのししの感染状況や発生事例の疫学調査での農場の課題についてお話いただきました。

また、農場HACCPの現状及び今後の展開については農場のバイオセキュリティレベル向上のためにも、農場HACCP認証を一層推進したいと国の方向性を再認識しましたが、今後の普及推進を図るためには消費者へのアピールの必要性を認識しているとのことでした。（出席者47名）

その後は講師を囲んでの「情報交換会」で活発な意見交換がなされました。（出席者31名）

2. 事業実施の方針

本年度は昨年に引き続き異常気象やウクライナや中東情勢、物価高騰が続く畜産経営を圧迫して畜産農場の長期的な影響が懸念される状況にあります。

一方、アジアで猛威を振るっている口蹄疫やASFは韓国、タイ、インドネシア、中国等のアジア周辺諸国において、引き続き発生しており、国内への侵入リスクは依然として高い状況です。このようなことから、畜産農場は、より一層飼養衛生管理の強化が求められているところです。

このため、公益社団法人千葉県畜産協会の指導の下、状況を鑑みながら各会員の家畜飼養、衛生環境等の指導力向上に努めるとともに、畜産経営の向上、消費者への畜産理解と消費の拡大を推進します。

3. 主な事業活動

(1) 農場HACCP構築支援指導（公益社団法人中央畜産会）

本事業は今年度が（3年間）最終年度となりますので、農場HACCP認証構築に取り組んでいる農場（20農場）は認証に向けてより一層の推進を図っていく予定です。また、県内の認証取得農場（64農場）も多くなっていることから、これらの認証農場への内部監査や従業員の教育・訓練等の更なる飼養衛生管理強化向上の支援に努めます。

(2) 畜産研修会：千葉市内等2回開催予定

第1回は総会後実施し終了、2回は来年1月～2月を予定しています。

役員一覧（令和5・6年度）

役職名	氏 名
理事長	新城 恒二
副理事長	宮島 成郎
	計良 伸行
	富田 耕太郎
事務局長	薫田 耕平
理事	内田 賢一
	染井 英夫
	井上 貢
	鶴岡 則夫
	山下 厚
監事	松田 延儀
	山田 真希夫

(3) 外国人技能実習生を対象とした研修会の開催（千葉県畜産協会単独事業：無料出前講座）

畜産農場には多くの外国人が働いています。千葉県畜産協会では、海外悪性伝染病の発生が危惧される中、飼養衛生管理基準に対応した外国人農場従事者を対象とした各国別パンフレット（英語、タガログ、ベトナム、タイ、ネパール、インドネシア、モンゴル、クメール語等）を作成し、パンフレットの配布や出前講座を無料で取組み、家畜伝染病発生予防の啓発に取り組んでいます。

希望されます農場は千葉県畜産協会までお問い合わせください。

4. 畜産フェアに出展します!!

11月16日（土）に船橋競馬場で開催される“千葉県畜産フェア”では昨年同様、NPOでは農場HACCPパネル展示、消費者アンケート調査、県内農場HACCP認証農場（近藤牧場、皆川牧場、奈良養鶏園）の協力による牛乳、チーズ、卵、プリン、菓子類等の販売、並びに「畜産なんでも相談コーナー」を予定しています。

5. 農場HACCP構築希望農家を募集しています!!

当NPOでは農場HACCP認証構築を希望する農家のご参加を募集しています。

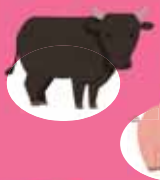
農場HACCP指導員を派遣して認証構築に向け各農場に即した体制や文書・記録づくりを支援します。（農場負担：無料）

◎入会申し込みや畜産に関するご相談等をお待ちしております！

お問い合わせ：NPO法人いきいき畜産ちばサポートセンター事務局（千葉県畜産協会内）

TEL：043-241-1738 FAX：043-238-1255

現会員数：80会員（内、正会員個人65・団体12 賛助会員3団体）



ちば畜産 レディースネットワーク



畜産に携わる女性のみなさん、
一緒に活動しましょう！
会員募集中です。

畜種を超えて手をつなぎませんか？
小さな私たちの声を大きく発信しましょう！

畜種を超えた女性たちが集まるグループです。
お互いの交流を深め、畜産女性の声を発信する場や情報交換の場として活動しています。
（情報発信・情報交換、研修会・交流会など）

ちば畜産レディースネットワーク事務局（公益社団法人千葉県畜産協会 内）
〒260-0021 千葉市中央区新宿1-2-3 K&T千葉ビル3階
TEL：043-241-5417 FAX：043-238-1255

わたしたち森久保薬品は
人と動物の「これから」を真剣に考えています。

 **森久保薬品株式会社**
<http://www.morikubo.co.jp>



1. 令和6年度通常総会盛大に開催 (2024.6.5)



ナイスポーク・青柳会長



衛生部・林会長



経営部・芳野会員



環境部・熱田会長



青年部・米本会長

【通常総会】

出席者125名（来賓：30名・賛助会員：53名・生産者会員42名）の参加によりオークラ千葉ホテル（千葉市）において開催いたしました。

青柳耕一会長から「養豚を取り巻く情勢は、あらゆる資材が高騰し、生産コストが上昇するなかで、養豚経営が健全に生き残り、産業として持続的に発展しながら豚肉の国内自給率50%以上を維持していくためには解決すべき課題が山積」と、現状を踏まえ協議会として生産性の向上、環境対策改善を進めるため4部会（衛生・経営・環境・青年）設置を報告し、今回記念講演として活動を報告する旨、挨拶。予定された全議案は承認されました。

【記念講演】

部会活動について各担当会長等から報告。生産者会員の皆さんには、関心のある部会へ参加され、経営改善への取り組みを促しました。合わせてご列席の関係機関のご指導をお願いいたしました。

2. 2024年度（一社）日本養豚協会（JPPA）通常総会開催 (2024.6.27)



JPPA・香川会長



来賓・坂本農林水産大臣



来賓・葉梨衆議院議員



記念講演：中央畜産会・森山会長

【通常総会】

東京プリンスホテル（東京都港区）において開催されました。全国から生産者会員105名（千葉県14名）が出席。塩澤英一会長代行から開会宣言、JPPA香川雅彦会長から挨拶がありました。来賓として坂本哲志農林水産大臣、葉梨康弘自民党養豚農業振興議員連盟幹事長から祝辞がありました。予定された議案は承認され、任期満了に伴う役員改選により新役員が決定いたしました。

改選された新役員（三役）

区 分	県 名	氏 名	区 分	県 名	氏 名
会 長	全国ブロック	香川 雅彦	副 会 長	神奈川県	山口 昌興
会長代行	宮城県	石川 輝芳		鳥取県	竹延 哲治
筆頭副会長	愛知県	山本 孝徳		大分県	福田 実
副 会 長	北海道	中岡 勝		全国ブロック	岡部 康之
	千葉県	菅谷 知男		学識経験	宝尺 実正

【記念講演】

部会の報告・養豚白書2024版の紹介後、（公社）中央畜産会森山裕会長から『新しい食料・農業・農村基本法と今後の農政』と題し、記念講演がありました。

3. 羽田空港動物検疫広報キャンペーン参加 (2024.7.30)



例年、夏休みの期間中は、海外との旅客の往来が活発となり、口蹄疫、アフリカ豚熱等の発生国からの帰国者も増大することが想定されます。今回、農水省動物検疫所成田支所の要請を受け、国内への家畜の悪性伝染病の侵入防止を目的に広報キャンペーンに県及び関係団体生産者の16名と着ぐるみ（ちーとん君）が参加しました。

キャンペーン終了後、空港内の検疫施設（入国手荷物・探知犬による検査、入国の際の靴底消毒施設など）見学しました。また、農水省担当官との意見交換に際し、青柳会長から日頃の水際対策強化について御礼を申し上げました。

農水省動物検疫所成田支所町田支所長から「2018年にASFがアジアに侵入して以来、水際検疫を強化しているが、携帯品の検査が長期に渡り続いている状態で、コロナ明けということもあり検査件数も増えている。成田空港の検査数は他港を寄せ付けられないほどであり、探知犬の検査数はダントツである。そのような中で職員に疲労感が出ている。そこで、生産者の方々に、水際まで出てきて、検疫担当職員の応援（講義）をしていただいている。今後も協力願ひ賛同いただけるのであれば、調整していきたい。全国の動物検疫所へ配信、録画で視聴、人数は限られるが対面などで水際対策を強化していきたい。」と挨拶をいただき、有意義な意見交換の時間を持つことができました。

4. レンダリング装置の活用のための第4回意見交換会 (2024.8.20)



レンダリング装置活用に向けた第4回目となる意見交換会が県庁畜産課・BSE会議室において開催され、ナイスポーク協議会から、青柳会長、菅谷会長代理、副会長5名（柴田・林・宝理・熱田・北田）、塩澤顧問、事務局の9名が参加しました。

青柳会長から、継続的に開催していく中で、万が一の時に活用できるように協議していきたい旨、挨拶。最初に畜産課から移動式レンダリング装置活用による経費について情報提供がありました。今回は、嘆願書提出を踏まえ今後の対応策について意見交換をいたしました。

①鹿児島県におけるレンダリング装置演習実施について

②レンダリング装置設置場所の拡大・確保について

③本県におけるレンダリング装置のデモンストレーションについて

本県での演習実施に際し、生産者組織として経費負担の可能性について打診があり、生産者から、演習実施にメリットが、万が一の発生時に円滑に運用することだけでは、生産者に対しての説明が弱いように思える、不要な作業等がなくなり発生時の費用が軽減される等のメリットがないと開催する必要はないと感じる等の意見が出され、次回までに検討を要する事項として、県に対しレンダリング装置演習した際の試算をお願いし、生産者組織としての経費負担については、会員の意見を聞くこととしました。

チバザポーク・チバザビーフ便り

チバザポーク販売推進協議会・チバザビーフ協議会



☆千葉県誕生150周年記念事業フィナーレイベントに旭市特産日の出ポークが出展しました！

『県誕生から150年を振り返り、続いていく未来に思いを馳せる』をテーマに、昨年6月から県内各地で記念事業が実施され、その締めくくりのフィナーレイベントが開催。旭市特産日の出ポークが出展し、串焼きやフランクフルトなどの販売を行いました。



●日時：令和6年6月16日（日）

●会場：勝浦市芸術文化交流センター駐車場

☆おいしい千葉の豚肉を味わう東庄「ポーク&ビア夏祭り2024」が開催されました！

今年で6回目の実施となったおいしい千葉の豚肉とビールで盛り上がるビアガーデンが開催され、多くの来場者でにぎわい、冷えたビールを片手に、ソーセージや串焼き等を楽しむ姿が見られました。



●日時：令和6年8月10日（土）～13日（月）

●会場：東庄町役場駐車場

☆抽選でチバザビーフ・チバザポークなどが当たる千葉の「新米キャンペーン」実施中！



千葉県は、温暖な気候を生かし、東日本で最も早く収穫の最盛期を迎える、全国有数の米どころ。おいしい千葉の新米を広くPRするため、新米購入者に賞品が当たる「新米キャンペーン」が実施中です。

●応募期間：令和6年度新米出荷時期から11月6日（水）まで

☆チバザポークなど千葉の農林水産物が当たる「ちばまるしえキャンペーン」が開催中！



千葉県では、秋から冬にかけて多く出回る旬の県産農林水産物を多くのお客様に味わっていただけるよう、昨年度に引き続き、全国1位の数を誇る直売所や収穫体験施設など、複数施設を利用した方にプレゼントが当たる「ちばまるしえキャンペーン」が開催されています。

●開催期間：令和6年9月2日（月）～令和6年12月2日（月）

「食の安全・安心」のための第1歩は、
「法令遵守」であることを
改めて認識してください。

地方競馬の収益金は畜産の振興に役立てられています！



- ・酪農、肉用牛、中小家畜など家畜の生産対策に関する事業
- ・生産された家畜や畜産物等の流通改善のための事業
- ・家畜の飼養環境改善事業 など

部 署		T E L	F A X
総務・企画部	総 務 課	043-242-5417(代)	043-238-1255
	企 画 課	043-242-6333	
事 業 部	経営・環境課	043-241-1738	
	衛生指導課	043-241-1738	
	生 産 課	043-241-3851	

Eメール：info@chiba.lin.gr.jp

U R L http://chiba.lin.gr.jp